



# BCG・4種混合(DPT-IPV)・ヒブ・小児用肺炎球菌ワクチンの接種スケジュール例



平成25年1月 福知山市福祉保健部健康推進室

接種方法	ワクチンの種類		接種できる年齢 接種回数 接種間隔	接種日 月/日	2	3	4	5	6	7	8	9	1	1	1	1	1	1	
	か	か			か	か	か	か	か	か	か	か	か	か	歳	歳	歳	歳	歳
					月	月	月	月	月	月	月	月	1	1	1	1	1	1	
					月	月	月	月	月	月	月	月	歳	1	1	1	1	1	
					月	月	月	月	月	月	月	月	歳	1	1	1	1	1	
2、3種類を同時接種	ヒブ (Hib) ヘモフィルス・インフルエンザ菌b型	任意	不	生後2か月児～3歳 4～8週間隔で3回、3回目接種後7～13か月の間に4回目	/	/	/	/	2つ同時接種 ①	②	3つ同時接種 ③							1回目接種の開始月齢によって接種回数異なります。	
	小児用肺炎球菌	任意	不	生後2か月児～3歳 27日以上の間隔で3回、3回目から60日以上をあけて1歳以降に4回目	/	/	/	/	①	②	③							1回目接種の開始月齢によって接種回数異なります。	
	4種混合 (百日せき・ジフテリア・破傷風・不活化ポリオ混合)	定期	不	生後3か月児～3歳 20～56日間隔で3回、3回目から1年～1年半後に4回目	/	/	/	/	4週間後	①	②	③	1週間以上あけて	④	4週間以上あけてから56日以内				MRから4週間後
	BCG	定期	生	生後3か月～6か月未満 1回	/														
	MR 第1期 (麻しん風しん混合)	定期	生	1歳～2歳未満 1回	/														小学校入学の前年に追加接種(第2期)

0数字は、接種回数です。

すべて単独接種	ヒブ (Hib) ヘモフィルス・インフルエンザ菌b型	任意	不	生後2か月児～3歳 4～8週間隔で3回、3回目接種後7～13か月の間に4回目	/	/	/	/	①	②	③							1回目接種の開始月齢によって接種回数異なります。	
	小児用肺炎球菌	任意	不	生後2か月児～3歳 27日以上の間隔で3回、3回目から60日以上をあけて1歳以降に4回目	/	/	/	/	①	②	③							1回目接種の開始月齢によって接種回数異なります。	
	4種混合 (百日せき・ジフテリア・破傷風・不活化ポリオ混合)	定期	不	生後3か月児～3歳 20～56日間隔で3回、3回目から1年～1年半後に4回目	/	/	/	/	それぞれ1週間以上あけて	①	②	③							MRから4週間後
	BCG	定期	生	生後3か月～6か月未満 1回	/														
	MR 第1期 (麻しん風しん混合)	定期	生	1歳～2歳未満 1回	/														小学校入学の前年に追加接種(第2期)

他の予防接種は4種混合・ヒブ・小児用肺炎球菌ワクチンから1週間以上あけると接種できます。

他の予防接種はBCGから4週間以上あけると接種できます。

その他の任意予防接種 (接種費用は有料)	B型肝炎	不	生後2か月児～ 4週間隔で2回、 2回目から半年～1年後に3回目	/	/	/			①	②									
	ロタウィルス (ロタリックス：2回) (ロタテック：3回)	生	生後6週児～ 32週までに3回接種を完了するものと24週までに2回接種を完了するものの2種類があります。接種間隔は4週間以上。	/	/	/			①	②	③								
	おたふくかぜ (流行性耳下腺炎)	生	1歳～ 1回	/															【1週間後の間隔とは？】 月曜日に接種すれば、翌週の月曜日から他のワクチンが接種できます。
	みずぼうそう (水痘)	生	1歳～ 1回	/															生後14週6日までに接種を完了することが推奨されています。
	インフルエンザ	不	生後6か月～ 13歳未満は2回 ・1回目から2～4週間隔で2回目	/	/														毎年、10月から11月頃に接種

**定期** 予防接種法に定められている定期予防接種で、接種は努力義務とされています。接種費用は無料です。

**任意** 予防接種法に定められていない任意予防接種。希望される人が接種できます。ヒブワクチンと小児用肺炎球菌ワクチンの接種費用は無料です。

**不：不活化ワクチン** ウイルスや細菌の病原性を完全になくし免疫をつくるのに必要な成分だけを製剤にしたものです。(1回の接種では免疫が充分できません。)

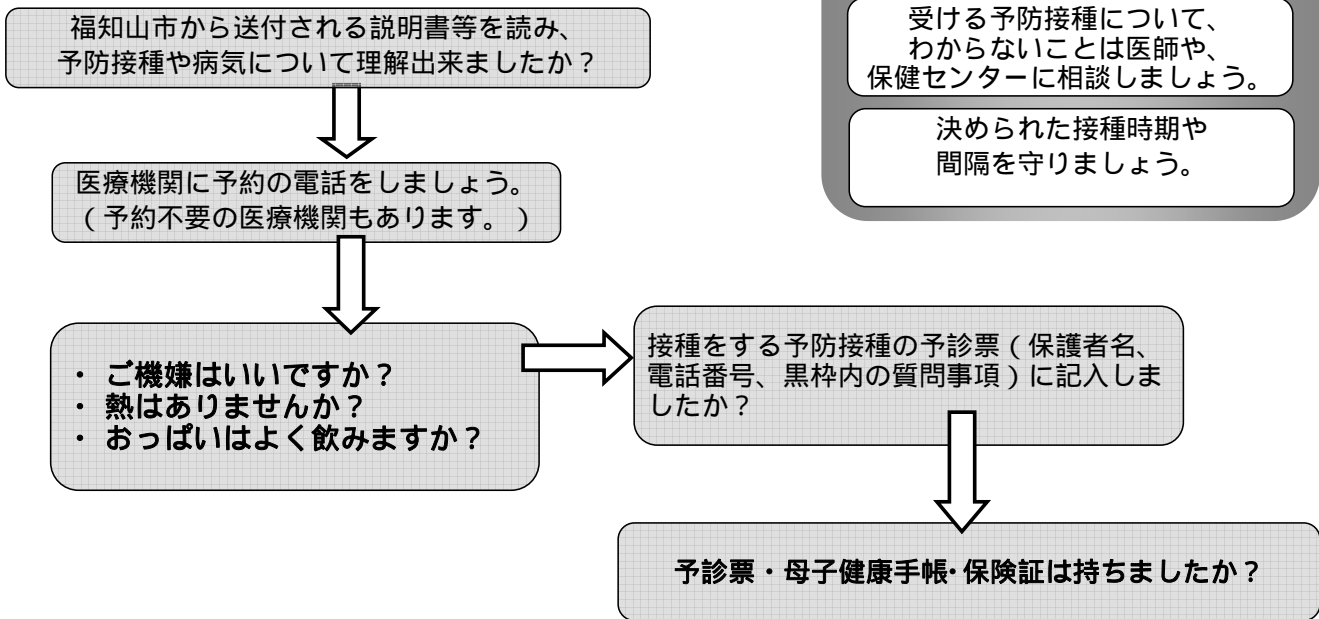
**生：生ワクチン** 生きたウイルスや細菌の病原性(毒性)を、症状が出ないように極力抑えて、免疫が作れるぎりぎりまで弱めた製剤。(1回の接種でも充分な免疫を作ることができます。)

**同時接種** 医師が必要と認めた場合、同時に複数のワクチンを接種することもできます。(同時接種とは、同日の同時間に、4種混合ワクチンを右腕にヒブワクチンを左腕に接種することです。)

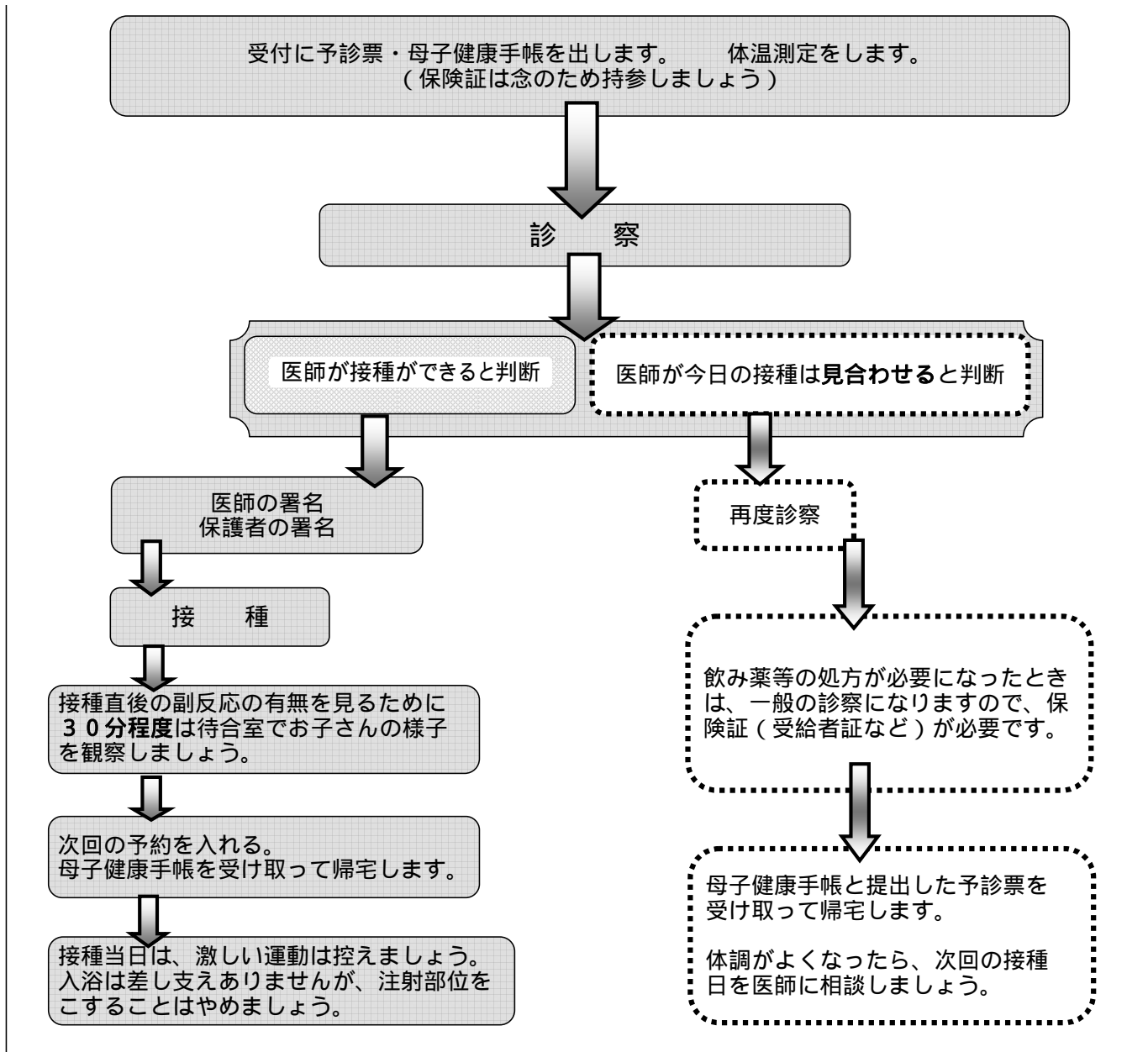
**予防接種  
スケジュール  
サイト**

ワクチンで防げる病気をVPDといいます。ワクチンの種類が増えて子どもの病気を予防できるのはうれしいけれど、ワクチン接種のスケジュール管理がたいへん。そんな家族のサポートアプリです。

# 予防接種を受ける前に



# 予防接種の当日、医療機関では



ヒブ(Hib)  
(ヘモウィルス・インフルエンザ菌b型)

鼻やのどにいるインフルエンザ菌b型(ヒブ)という菌が血液の中に入り、脳障害を起こす細菌性髄膜炎や呼吸困難になる喉頭蓋炎、細菌性肺炎などを起こします。死亡や重い後遺症が残ることもあります。

小児用肺炎球菌

鼻やのどにいる肺炎球菌が血液の中に入り、細菌性髄膜炎や細菌性肺炎、細菌性中耳炎などを起こし、死亡や重い後遺症が残ることもあります。

4種混合  
(百日せき・ジフテリア・破傷風・不活化ポリオ)ワクチン

【百日せき】

百日せき菌がのどなどにつき、かぜのような症状で始まり、せきが長く続くようになります。けいれんや肺炎を起こしたり、1歳未満、とくに生後6か月以下では無呼吸で死亡したり脳症を起こすこともあります。

【ジフテリア】

ジフテリア菌がのどについて、気道がふさがって息ができなくなったり、菌の毒素で神経麻痺や心臓の筋肉の炎症を合併して死亡することもあります。

【破傷風】

破傷風菌が傷口から入って、菌の毒素で筋肉がけいれんし、最終的には後ろに大きく弓なりになる姿勢になり、呼吸ができず死亡することもあります。深い傷だけでなく、小さな傷からでも起こります。

【ポリオ】

ポリオウィルスによる感染症です。感染しても、ほとんどの場合は、発病しないか、発病しても多くはかぜ症状ですが、まれに手足に麻痺を起こし、運動障害が残ります。

結核  
(BCG)

結核菌が肺や脳を包む髄膜などについて、炎症を起こします。せきやくしゃみをしたときに飛沫(しぶき)とともに飛び散った結核菌を吸い込むと感染します。初期症状はかぜと似ています。

平成24年11月1日から新たに開始された4種混合の対象となる人は、平成24年8月生まれ以降の人です。それまでに生まれた人は、三種混合とポリオの予防接種をそれぞれ接種しています。

麻疹風しん(MR)

【麻疹(はしか)】

麻疹ウィルスによって、熱、鼻水、せきなどの症状のあと、3日~4日目から全身に発疹が出て、高熱が7日~10日続きます。気管支炎、肺炎、脳炎等を合併しやすく、死亡することもあります。かかって数年後に亜急性硬化性全脳炎(SSPE)という難病(知的障害とけいれん)になることもあります。

【風しん】

風しんウィルスによって、体に赤い発疹がでます。熱はでないこともあります。まれに脳炎や血小板減少性紫斑病という合併症が起こることがあります。妊娠初期の女性がかかると先天性風しん症候群の子どもが生まれることがあります。

日本脳炎

感染した豚の血から、蚊を介して日本脳炎ウィルスに感染します。多くの場合は無症状ですが、脳炎を起こすと、死亡や後遺症が残ることが多くなります。(3歳になれば無料で接種できる予防接種を送付します。)

B型肝炎

B型肝炎ウィルスを持つ母親だけでなく、父親・友人・ウィルスに汚染された血液の輸血や性行為で感染します。子どもの場合は原因不明のことも多いとされています。肝炎になると、疲れやすくなり、黄疸が出ます。慢性化すると肝硬変や肝臓がんにつながります。

ロタウィルス

ロタウィルスは感染力が強いので、ほとんどの乳幼児が感染します。激しい嘔吐や下痢、発熱を伴い、脱水症状やけいれんを起こしたり、脳症や脳炎等を合併することもあります。

おたふくかぜ  
(流行性耳下腺炎)

おたふくかぜウィルスによって耳下腺の腫れが目立ちますが、全身の炎症(徐々に脾臓、卵巣、精巣など)も起こします。無菌性髄膜炎、一生治らない難聴、脳炎の合併症があり、死亡や脳の後遺症が残ることもあります。

みずぼうそう  
(水痘)

水痘帯状疱疹ウィルスの感染により、熱が出て、かゆみのある虫さされのような赤い発疹が出て、水ぶくれになり全身に広がります。7日程度でかさぶたになります。脳炎や肺炎、皮膚の重い細菌感染症などがあり、死亡することもあります。

インフルエンザ

インフルエンザウィルスによる感染症で、主に冬に流行します。高熱を伴い、気管支炎、肺炎などの呼吸器の病気や、脳炎・脳症を起こし重症化しやすい病気です。